

平坦地域における早熟スイートコーンの播種適期と品種特性

本県平坦地域での早熟スイートコーンでは、2月上旬播種が最も収量が多く適期である。2月上旬より早播きしても収穫日はわずかに早まるにとどまる。また、移植栽培と直播栽培の間に収穫日や収量の大きな差はない。‘ゴールドラッシュ’は収量が多く、また、先端不稔の程度が小さく品質に優れる。

農業研究センター 農業研究所 作付体系研究室 (担当者 :山並篤史)

研究のねらい

本県では水田転作やイグサの不振などから野菜栽培に取り組む農家が増加しており、水田の特性を生かし高度に利用できる作付体系の確立が望まれている。そこで、本県平坦地域における作付体系に組み込む品目の一つとしてトンネル栽培による早熟スイートコーンを取り上げ、播種適期および適品種を明らかにする。

研究の成果

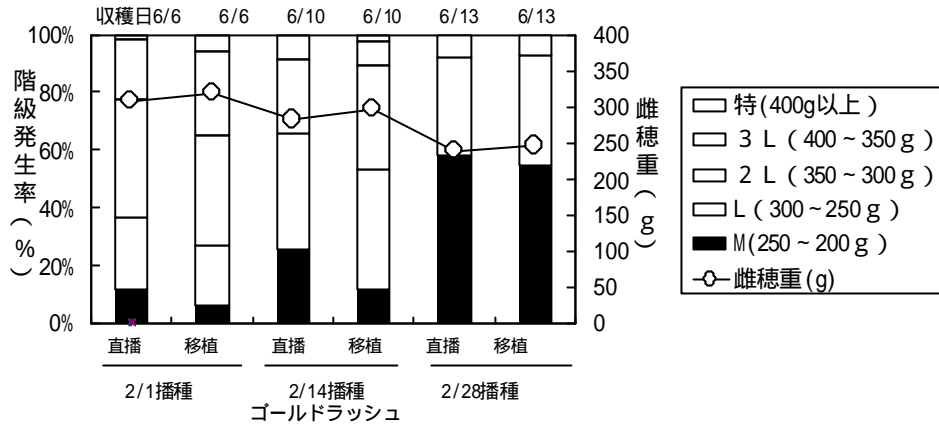
- 1.本県平坦地域での早熟スイートコーンでは、2月上旬播種が最も収量が多く適期である(図1)。
- 2.2月上旬より早播きしても収穫日はわずかに早まるにとどまる(図1)。
- 3.移植栽培と直播栽培の間に収穫日や収量の大きな差はない(図1)。
- 4.‘ゴールドラッシュ’は収量が多く、また、先端不稔の程度が小さく品質に優れる(図2、図3)。

普及上の留意点

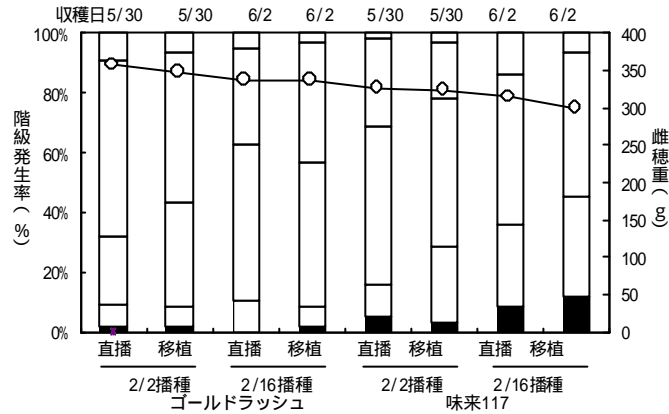
- 1.アワノメイガ等の害虫の発生がみられるので適期防除に努める。

【具体的データ】
(平成17年)

No.366 (平成20年 7月) 分類コード2-04 熊本県農林水産部



(平成18年)



(平成19年)

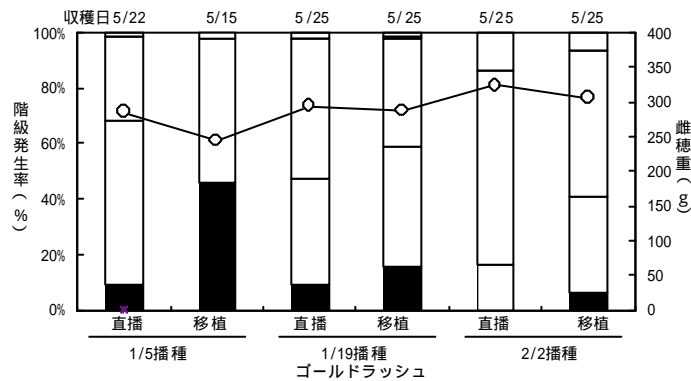


図1 階級発生比率および雌穂重

栽植密度 畝幅140cm、株間30cm、条間30cmの2条植え
黒マルチおよび塩化ビニル製トンネル(幅100cm、高さ70cm、4月上旬除去)栽培
直播栽培では1穴あたり3粒播種し1株に間引いた
移植栽培は200穴セルトレイで育苗した

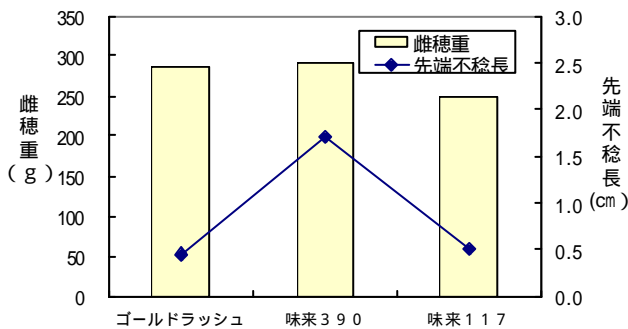


図2 雌穂重および先端不稔長の品種間差異 (平成19年)



図3 ゴールドラッシュの雌穂先端